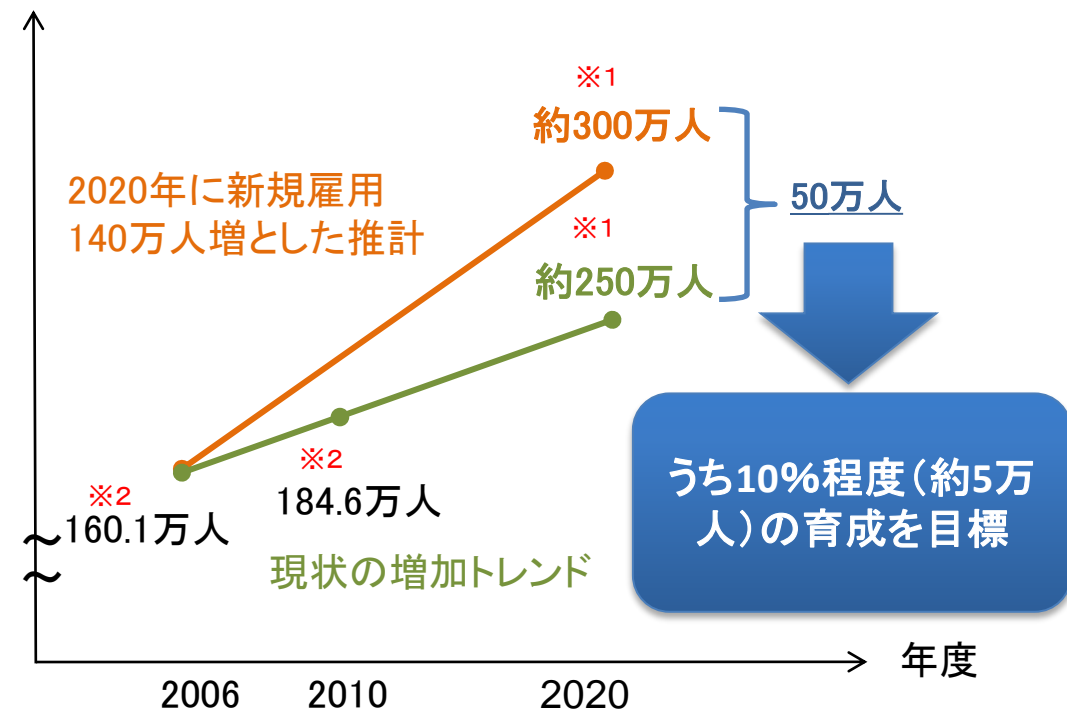


カーボンマネジャーのキャリア段位制度の目標（案）

資料4

- 日本全体のエネルギー使用の合理化や温室効果ガスの排出削減の必要性に加え、東日本大震災に伴う電力供給の減少など、省エネや温室効果ガス排出削減等に係る人材の拡充が求められている。
- これを踏まえて、「日本再生戦略」の目標年次である2020年において、キャリア段位認定者数の合計を5万人程度とすることを目標とする。

環境産業の雇用規模



※1 2020年の雇用規模は、環境省「2010年版 環境産業の市場規模・雇用規模の推計」を基に内閣府にて推計。

※2 環境省資料からの引用箇所等については、以下の通り

- ・2006年の雇用規模については160.1万人、2010年の雇用規模については184.6万人
- ・環境産業とは、①環境汚染防止、②地球温暖化対策、③廃棄物処理・資源有効利用、④自然環境保全の4分類からなるものである。

＜キャリア段位制度の目標＞

- 環境産業のうち、カーボンマネジャーと特に関連が深い地球温暖化対策関連業務には、全体の約10%が従事(2010年時点)。
- 2020年における日本再生戦略の目標数と現状の増加トレンドのギャップのうち、地球温暖化関連業務に従事する約10%の人材を輩出することを目標とする。
- 目標の達成に向け、制度創設後3年間で1.3万人程度、2015年度以降は各年度7千人程度のキャリア段位認定者の育成をめざす。

(参考)既存資格の有資格者数(2011年度)

- ・eco検定:約16.3万人
- ・エネルギー管理員:約7.2万人
- ・エネルギー管理士:約6.2万人

- これらによりカーボンマネジメント分野の市場拡大と雇用創出に寄与。

既存資格の有資格者等の参入について

- 2020年において約5万人以上のカーボンマネジャーを輩出するためには、環境分野における既存資格取得者のうち、一定割合の参入が必要。
- 既存資格の年間取得者のうち、エコ検定の1割程度(約3,000人)、エネルギー管理員・エネルギー管理士の2割程度(約3,000人)の参入を想定。

企業・自治体の環境分野担当者、学生等

既存資格

eco検定

年間取得者:約 3.4万人
累計取得者:
2011年度 約16.3万人
2020年度 約46.9万人(推計)

エネルギー管理員

年間取得者:約 1.1万人
累計取得者:
2011年度 約 7.2万人
2020年度 約17.1万人(推計)

エネルギー管理士

年間取得者:約 0.5万人
累計取得者:
2011年度 約 6.2万人
2020年度 約 10.7万人(推計)

エコ検定の1割程度、エネルギー管理員・エネルギー管理士の2割程度がカーボンマネジャーに参入

段位認定者

レベル1

2020年度
累計約2.7万人

レベル2

2020年度
累計約2.7万人

レベル3

レベル4

※エコ検定の年間取得者数は2010～11年度の平均。エネルギー管理員・エネルギー管理士は2008～11年度の平均。

※2020年の推計は、各資格において毎年同規模の新規取得者が生じたものとして算出。

※段位認定者のうち、一定割合がより上位のレベルに取り組んでいくと想定(2015年以降、各レベルの20%程度のレベルアップを想定)。

2020年度までに累計約5万人以上のカーボンマネジャーを輩出